

令和2年度 鯉淵学園農業栄養専門学校 アグリビジネス科教育課程編成委員会議事録

実施日：令和2年7月27日 10時から

場所：鯉淵学園農業栄養専門学校 本館2階会議室

参加者名

外部委員

山田 浩太 様 アルファイノベーション 株式会社 代表
小池 航 様 株式会社 環境管理センター 筑西試験農場
李 強 様 有限会社 瑞穂農場 取締役（形山様代理）
辻川 裕昭 イセ食品株式会社 石岡工場長
藤井 誠一 イセファームつくば農場 農場長

内部委員

長谷川 量平 鯉淵学園農業栄養専門学校 副学園長 （委員長：学園長代理）
大熊 哲仁 ” アグリビジネス科学科長 （副委員長）

議題：

① 企業との連携と学生募集について

② その他

委員からのコメント

学生募集に関して

- ・遠隔地からの学生の確保、留学生の学費システムを国内の学生に向けてみては。学費を稼ぐ手段として実習を活用してみたらどうか？そうすれば全国から学生が来るのではないか？留学生はアンマッチの場合逃げ道がない。
- ・企業側も利点があるようにデザインすべき。
- ・瑞穂の実習でも評価が可能。
- ・就職の企業リストもマッピング

企業との関係に関して

- ・企業と連携したときに企業が求めるスピード感を強くしていかないといけない。職員の業務偏りを解消していかないといけない。
- ・学生は独立就農か雇用就農希望なのか？雇用就農が多い。大手の経営者との座談会。
- ・研究室での研究内容と企業との研究。ICTなどいろいろ。
- ・ICT、バイオステイミラント等先進的に取り入れ得ている感を出した方がいい。
- ・企業との連携がパンフレットに記載されていない。

- ・設備の刷新はできないので、人との繋がりを強化
- ・企業で実習することによるどうなるのか？明確に目標を描かせればよい。

改善すべき点

- ・企業連携の窓口の部署の検討が必要
- ・ものを作り上げることに興味を持つように遊びも含めた。科目運営すべき。

次回、2021年2月1日（月） 10時より

令和2年度 鯉淵学園農業栄養専門学校 アグリビジネス科教育課程編成委員会記録

実施日：令和3年2月1日 10時から

場所：鯉淵学園農業栄養専門学校 本館2階会議室

参加者名

外部委員

山田 浩太 様 アルファイノベーション 株式会社 代表
小池 航 様 株式会社 環境管理センター 筑西試験農場
藤井 誠一 様 イセファームつくば農場 農場長 (Web)
大浪 信了 様 イセ食品石岡工場 工場長 (Web)

内部委員

島崎 弘幸 鯉淵学園農業栄養専門学校 学園長
長谷川 量平 〃 副学園長 (委員長:学園長代理)
大熊 哲仁 〃 アグリビジネス科学科長

議題：

- ① 鯉淵学園の新しい教育に関して (アグリチャレンジ2021)
- ② 企業との連携について

長谷川の司会で開会し、島崎より参加のお礼の後に、アグリチャレンジ2021の説明を長谷川から行った

委員からのコメント

① 鯉淵学園の新しい教育に関して

・ICT教育に関して

ドローンは養鶏分野での応用(石灰散布など)もあり得るので進めてほしい
ICT教育は3年ほどやっているらしいが学校宣伝に寄与していない。

・マーケティング教育に関して

学生ベンチャーなど検討したらどうか
経営者講座等宣伝にも使える

学生の基本で来な素養の向上も必要ではないか？

② 企業との連携

- ・担当部署の検討は進んでいないのではないか？もっとすすめるべきである。
- ・企業のリズムと学校の鯉淵学園のリズムが違いすぎる（鯉淵が遅い）
- ・企業の利益追求の姿勢と学校の教育に対する姿勢で齟齬が出るのは仕方ない。
- ・連絡窓口、職務分掌などしっかりしてほしい。

以上、10時5分散会